

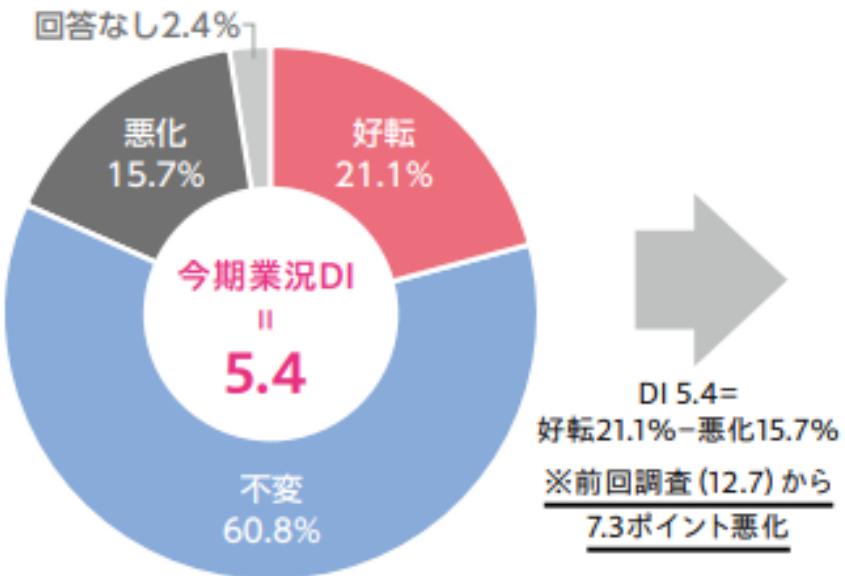
# 経済状況データ (DI) (2025年7月~9月期)

調査時期：2025年9月19日～10月3日  
対象期間：2025年7月～9月期、及び  
2025年10月～12月期見通し  
調査対象：東京商工会議所世田谷支部  
会員（3,579社）  
回収状況：合計502社（回収率14.0%）

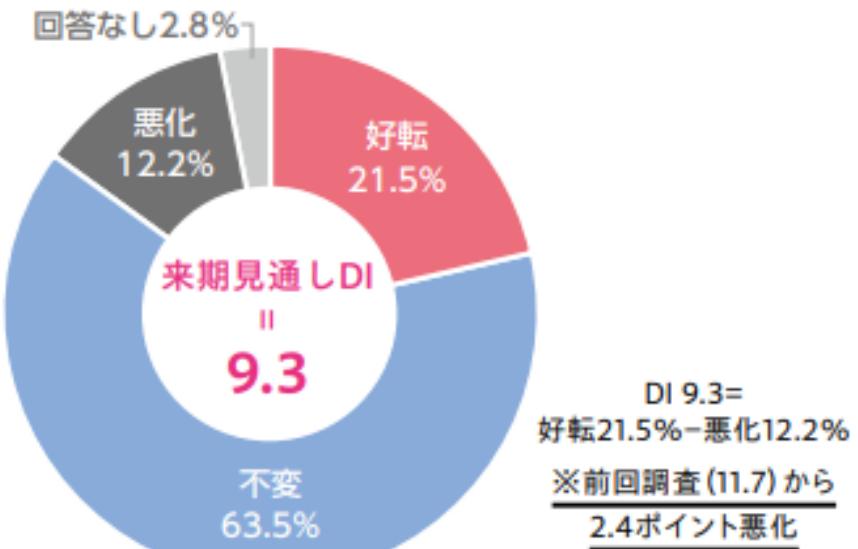
## 業況

今期(2025年7~9月期実績)の業況DIは、+5.4ポイントで前期から▲7.3ポイント悪化した。  
来期の業況見通しDIは+9.3ポイントとなり、前回調査より▲2.4ポイント悪化する見通し。

### 今期の業況(前期との比較)



### 来期の見通し(今期との比較)

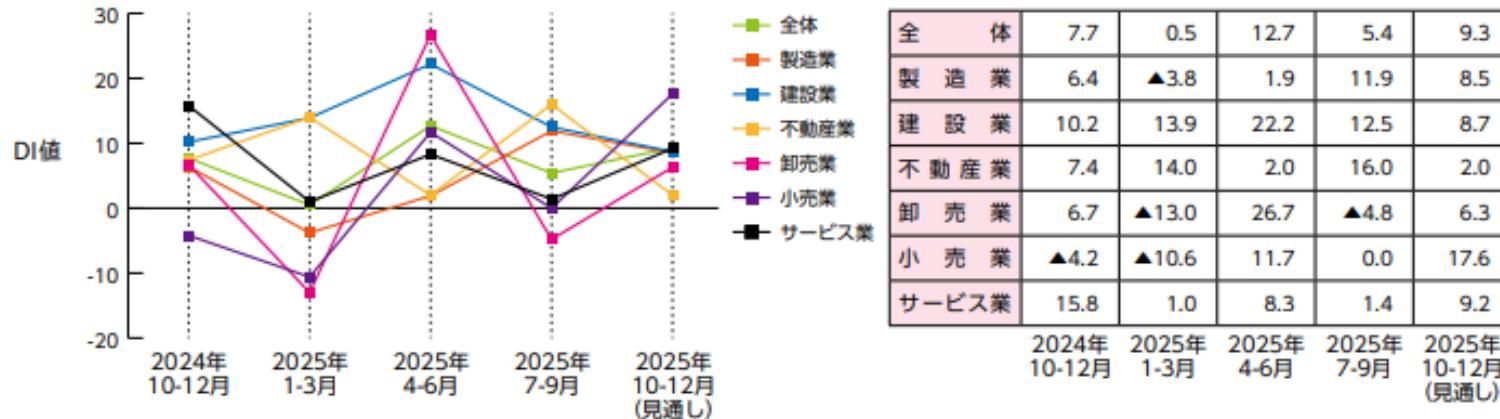


※DI (Diffusion Index) … DI (%) = 「良い」「増加」等企業割合 - 「悪い」「減少」等企業割合。各項目について、「増加」「好転」とする企業の割合から、「減少」「悪化」した企業の割合を差し引いた値。プラスは全体として「増加」「好転」したとする割合が多く、景気が上向きの傾向を示す。マイナスは景気低迷の傾向を示す。

# 経済状況データ (DI) (2025年7月~9月期)

## 業種別の動向

今期の業種別DIは「不動産業」+16.0(前期比+14.0)、「製造業」+11.9(同+10.0)の2業種が改善し、それ以外の業種は悪化した。大きく悪化したのは「卸売業」▲4.8(同▲31.5)で30ポイント以上悪化した。来期は「小売業」+17.6(当期比+17.6)、「卸売業」+6.3(同+11.1)、「サービス業」+9.2(同+7.8)の3業種で増加する見通し。



## 経営上の問題点

順位	項目	回答数	回答率	前回順位	順位	項目	回答数	回答率	前回順位
1	仕入単価、下請単価の上昇	212	42.2%	— 1	11	生産設備の不足・老朽化	36	7.2%	↓ 10
2	人件費の増加	208	41.4%	— 2	12	事業資金の借入難	24	4.8%	— 12
3	人件費以外の経費の増加	154	30.7%	— 3	13	大企業(大型店)進出による競争激化	22	4.4%	— 13
4	従業員の確保難	139	27.7%	— 4	13	取引条件の悪化	22	4.4%	↑ 14
5	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	67	13.3%	— 5	15	代金回収の悪化	11	2.2%	↑ 17
6	購買ニーズの変化への対応	66	13.1%	↑ 7	16	在庫の過剰	8	1.6%	↑ 17
7	需要の停滞	54	10.8%	↑ 8	16	在庫の不足	8	1.6%	↓ 15
8	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	39	7.8%	↑ 11	18	購買力の他地域への流出	3	0.6%	↓ 16
9	金利負担の増加	38	7.6%	↓ 6	19	生産設備の過剰	2	0.4%	— 19
10	新規参入者の進出や同業者の増加	37	7.4%	↓ 9					

※複数回答(3つまで選択)のため、回答率の合計は100%を超える。

出典：せたがやエコノミックス